

# 95 イヌワシ

(タカ目)

兵庫県ランク:A

*Aquila chrysaetos*

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:調

◎国内希少野生動植物種 ◎天然記念物

環境省ランク:EN(絶滅危惧 I B類)

## 種の概要

北海道、本州、四国、九州では留鳥。兵庫県では局地的ではあるが、周年見られる。深い山地に生息し、岩棚や高木の枝上に営巣する。秋冬には丘陵地や平地、海岸にも飛来することがある。ノウサギやヤマドリ、大型のヘビ類などを捕食する。



写真提供:三谷康則

## 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(西宮市)、豊岡市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、(たつの市)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



## 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。  
かつては県内の山地に広く分布していたが、開発の時代に急激に減少した。1970年頃にはまだ20羽程が生息すると考えられていたが、1980年以降の繁殖状況は非常に悪くなり、1990年には但馬地域で2巣分の雛2羽が確認されたにすぎない。最近では、2004年に美方郡で繁殖が確認されて以降、東中国山地での繁殖記録はない。

## 保護上の留意点

営巣地周辺での厳しい開発規制と入山規制および餌場を確保するための植林地の定期的な伐採が重要。さらに本種の回復のためには、かつての繁殖地の営巣場所周辺の保全・再生も重要。



写真提供:三谷康則



写真提供:三谷康則